

群馬菱の実会だより



恒例の秋の親睦旅行「会津芦の牧温泉の旅」を前号でご案内いたしました。締切日までに、27人の方から参加の申し込みをいただきました。参加者は下記の通りです。

参加のご確認と、集合時間、コース等のご確認をお願い致します。

荒井 昭三	石尾 延也	石関 武司	稲葉 征一	大槻 伸次	大谷 清輔
上村 統久	金子 吉男	久保 弘行	佐藤 勇	佐藤 辰利	坂田 孝志
境野 賢治	下山 國夫	篠崎 辰夫	立浪 嘉明	田野 博保	田口 勝也
高橋 勝美	高柳 静雄	長澤 英治	長嶺 元	長谷川正男	福島 才吉
細野 孝雄	増田 三郎	茂木 敏男			

1. 期 日 : 平成19年10月17日(水)～ 18日(木) 1泊2日
2. 集 合 : 馬電 正門前 午前9時45分 (駐車は正門前グラウンドへ。雨天の場合当日指示)
3. 宿泊先 : 芦の牧ホテル (福島県会津若松市大戸町芦ノ牧796 TEL0242-92-2206)
4. その他 : 参加費(15000円)は当日徴収します。
留守宅には、事務局及び宿泊先の住所、電話番号を。念のため、保険証のコピーを持参下さい

< 1 日 目 >		< 2 日 目 >	
10:00	馬電正門前 出発	9:30	ホテル 出発
11:00 着 11:15 発	草木ダム(休憩 15分)	9:45 着 11:00 発	大内宿(見学 1時間15分)
12:30 着 13:15 発	磐梯日光店(昼食 45分)	12:30 着 14:00 発	竜王峡(見学・昼食 1.5時間)
14:05 着 14:20 発	道の駅たじま(休憩 15分)	15:30 着 15:45 発	草木ダム(休憩 15分)
15:10 着 16:10 発	塔のへつり(見学 1時間)	17:00 着	馬電正面前
16:30 着	芦ノ牧ホテル		

< 菱の実会入会者勧誘のお願い >

このところ、菱の実会への入会者があまり伸びておりません。会の財政が厳しき折、来年度(20年度)から、年会費を1000円値上げさせて頂くこととなりましたが、将来の安定的運営のためには、会員増が不可欠です。

- ・会の存在を知らなかった。
- ・会の内容が良くわからない。
- ・入会の案内がなかった。
- ・入会のタイミングを失した。
- ・入会の方法、手続きがわからない、面倒・・・。

などで、入会されていない方が多いのではないのでしょうか。

ついては、皆さんの友人・知人の該当者で、未入会の方にぜひ声をかけて頂き、入会をお勧め下さるようお願い致します。入会希望者が見つかりましたら、事務局までご連絡ください。

入会の案内や手続き書類などをお送りします。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(ホームページでご覧の方は、<ここ> をクリックして、案内・手続き書類をお取り出しください)

【 ボランティア情報 … 尾島ぴっころ福祉作業所の作業応援 】

9月10日～12日の3日間、恒例となっている作業応援を実施しました。

9/10日は秋の研修旅行日で留守番職員とパンジーの定植作業(写真下)、ちなみにこのビニールハウスは三菱電機の寄付によるものです。

9/11、12日はボールペンの組立作業(写真上)。台風9号と研修旅行で2日間休みになり、作業が遅れていたもので、11、12日の応援は助かったそうです。

なお施設の概要を説明しますと

- 1、施設の目的。太田市に在住する障害者の自立指導、訓練を行い福祉の向上に寄与することを目的としています。現在の受け入れ人員、所生-----12人、デイサービス-----5人
- 2、「ぴっころ」の由来。ピッコロは小さな楽器で目立たないが、その音色は非常に美しい。地域の中で福祉作業所、個人がキラッと光る「ピッコロ」のような存在になりたい、そう願いをこめて-----
- 3、ボランティアの受け入れ。所生の自立指導に、人とのふれあいを重視して、積極的に受け入れを行っています。1200人/年



馬電ふれあいフェスティバルのご案内

恒例の馬電フェスティバルが、11月10日(土) 10:00～14:00 馬電構内で実施されます。今回は、2年に一度の大イベントということで、土曜日に盛大に行われる予定です。

その中にまじって、今年の実会総会懇親会の場で披露した、菱の実会OBバンド(PGP:プラチナ・グランパパ)が特別出演します。午前と午後の2回演奏の予定です。応援をよろしくお願いいたします。

《雑記帳》

インド式計算に思う

先日、本屋に立ち寄ったら、インド式計算の本が、専用コーナーを設けてたくさん並べてあった。今、このインド式計算がブームらしい。その勢いに押されてインド式計算の本を買ってみた。

インド式計算とは …… 例えば、「 $398+158$ 」の計算。インド式は、これを「 $400+156$ 」のように、片方をキリのいい数字に置き換えて計算する。まさに小銭の整理術。

次に「 14×11 」の計算。「11」を「 $10+1$ 」と捉えるのがポイント。まず「 14×10 」を計算して「140」。

次に「 14×1 」で「14」。これを足して「 $140+14$ 」で「154」というやり方。これなら暗算でもできる。

それでは、「 48×25 」の計算。「25」を「 $100\div 4$ 」と考えるのがポイント。先に「 48×100 」を計算して「4800」。それを「4」で割って「1200」。掛ける数が「25」の時は、100を掛けて4で割る。

このように、「計算しやすい形にして変化させる」のがインド式。これなら、日本人だって人によってはとくにやっている方法かもしれない。それが今 なんでインド式として脚光を浴びているのか……。

もともとインドは、数学への取り組みが盛んな国らしい。掛け算も九九ではなく、 19×19 まで覚えるという。

小さい頃からみっちり数学を学び、柔軟性に富んだ思考と論理をたたきこむ。我々日本人は、ちょっと複雑な計算になると、すぐに「電卓」に手がいってしまう。すっかり数学が苦手になってしまった。

「読み・書き・そろばん」の時代は、数学先進国だったはず。インドなんかには負けてはいられない。

そんなインドに興味を持ってしまった。時々この雑記帳でインド事情について取り上げてみようかと思う。

(篠崎 記)

【 会員投稿 】

読書の愉しみ (1)

鳥取市 高橋正農

『若き日にバラを摘め・瀬戸内寂聴』(『読書のすすめ』岩波文庫編集部編)の中に、「生きている人間の愉しみは、食べることと、セックスすることと、読書することに尽きるのではないでしょうか。食欲も性欲も過ぎると害を伴いますが、読書だけは読みすぎても害を蒙ることがありません。」というのがあります。歳を取ってきて、読書にのめり込むようになりました。元来怠け者で、三段論法的な「レポート」や「ハウツー物」は好きでしたが、帰納法的な「小説」はあまり好きではありませんでした。でも、「詩」や「ことば」には大変興味を持っておりました。最近、山や川や湖や海や桜や若葉や紅葉や朝日や夕日がやけに美しく見えるようになりました。やはり、歳を取ったことの証明なのでしょう。何時までも青春を忘れないようにと「詩集」を読んだり、人生とは何だったのかと「名言」を読んだり、老人についての「小説」を読んだりすることが多くなりました。自分の人生を振り返りながら、死の準備の勉強をしているのかも知れません。岩波文庫などで面白いと思ったものをご紹介します。

■ エリート(日本と日本人への10の質問)

塩野七生 『文芸春秋 2007年7月号』

日本に活力がないのは、高齢化のせいではなく、日本のエリートとされる人々の自覚と気概に関わりがあるように私には思えます。

日本の指導層にないものは何か、と考えたとき、それは「ノブレス・オブリージュ」の精神ではないかと思えます。一般の大衆には行動の自由があることでも、自分は他の人にはない犠牲を払ってでも背負わなければならないものがある、という覚悟。ローマのリーダーたちが好んだストア派の哲学が説いたのがこの考え方でした。では、バブルが崩壊した後、日本のエリートたちは、「体を張った」のでしょうか。彼らは何もせずに、ただ自信を失っただけではないのでしょうか。

■ ノブレス・オブリージュ(高貴なる者の義務)

ひろさちや 『どの宗教が役に立つか』

高貴なる者、社会的に身分の高い者は、それだけ大きな義務を背負っているという考え方である。日本の政治家どもは、みずからをノブレス・オブリージュと自覚していないから処置なしである。エリート(ノブレス)であってエリートの義務(ノブレス・オブリージュ)を自覚していない奴は、「下等な人間」である。逆に、「上等な人間」とは、エリートであって、しっかりとエリートの義務を自覚している者である。

庶民(ノン・エリート)は、「上等な人間」「下等な人間」とは無関係である。したがって、「上等な人間」になる必要があるのは、エリートだけである。庶民は「上等な人間」になろうとしなくてもよろしい。気楽でいられるんですよ、庶民は。日本全体のことを考えるのは、ノブレスの仕事である。庶民は我儘勝手な要求をしていればいいのだ。それで日本が潰れないようにするのが、政治家の仕事なのだ。その仕事ができないのであれば、さっさと政治家をやめればよい。なにもノブレスの仕事を、庶民が手伝ってやる必要はない。それが、ノブレス・オブリージュの考え方である。

■ 偽装と隠蔽(ことば) 『ベーコン随想集』

覆い隠すことは一種の無力な政略または智恵にすぎない。真実を語り、それを実行する時を知るには、強い知力と強い心を必要とするからである。それゆえ、大いに隠蔽する人は、普通より弱い部類の政治家である。

■ 議事(ことば) 『ベーコン随想集』

急ぎすぎることは議事にとって最も危険なことのひとつである。それは医者「消化不良」もしくは早食いと呼んでいるものに似ている。これは必ず体を酸っぱい液や病気の隠れた種で満たす。それゆえ敏速を計るには、審議の所要時間によらずに、議事の進捗によるがよい。議事において敏速をもたらすのは、要件に専念することであって、それを一度にどっさり取り上げるのではない。手ぎわのよい人と思われたいために、短い時間にすばやく片づけたり、議事が終わったようにわざわざ見せかけたりすることばかり気にかかる人々もいる。しかし、手ぎわよく片づけて時間を短縮するのと、切り棄てて短縮するのは別である。会議または会合を何回か重ねて切り棄てによって処理した議題は、不安定な状態で一向に埒があかないのが普通である。

■ 反乱と騒動(ことば) 『ベーコン随想集』

国民を治める者は、国家における嵐の前兆を心得ておかなければならない。この嵐は事態が平等に向かって推移する時、最もはげしい。それは自然界の嵐が春分と秋分の頃に最もはげしいのと同じである。また嵐の前にはどこからともなく吹きつける風や、ひそかにうねる大波があるように国家にもそういうものがある

■ 書(ことば) 『易経』

子曰く、書は言を尽くさず、言は意を尽くさずと。

< 続く >



◇ おしらせ ◇

		日時	場所	申込み、その他
1	10月の 囲碁愛好会	10月15日(月) 9:30～	赤城倶楽部	ご自由にご参加ください
2	10月の麻雀会	10月11日(木) 10月25日(木) 9:30～17:00	赤城倶楽部 会費2000円	申込み 10/6(土) 20日(土) 下山國夫(0277-78-3204) 荒井昭三(0276-52-0803)
3	10月 グラウンドゴルフ 例会	10月15日(月) 9:30～ (集合 9:15)	利根グラウンド ゴルフ場 (会費:無料)	希望者は直接会場へ (雨天中止)
4	第34回 ゴルフ愛好会例会	未 定		締切、先着 40 名 萩原(56-3852) 関根(31-8410) 川口(56-2678) 長谷川(0270-74-2056)
5	11月の パソコンサークル	11月5日(月) 13:30～15:30	労組事務室	ご自由にご参加ください
6	11月の カラオケ月例会	11月5日(月) 17:30～20:30	カラオケ本舗 「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み:9月28日(金)まで 佐藤辰利(0276-52-4688) 大橋 浩(0276-52-3866)
7	編集委員会	10月22日(月) 13:30～	組合会議室	都合の悪い場合は、事務局まで 忘れずにご連絡をお願いいた します
8	幹事会	11月5日(月) 16:00～		
9	【ボランティア】 芝桜の植生	9月28日(土) 8:30～ (事務局で対応済)	備前島浄水場	事務局まで tel、fax、メール等で

編集後記

「菱の実会だより」の編集を担当してから、ちょうど1年がたちました。

出来上がってほっとする間もなく、もう次号の構成を考える日々。一ヶ月のなんと早いことか。

パソコンの画面上であれこれ考えていると、あっという間に時間が過ぎていきます。

絶好の脳トレーニングです。おかげで、ボケの入り込むスキがなさそうです。

今後の編集方針として、「ボランティア情報」を充実させると共に、バラエティーに富んだ誌面にしていきたいと考えております。皆さんのボランティア体験や情報、原稿をぜひお寄せください。この菱の実会だよりを、ホームページからご覧頂くと、カラーで大きくきれいに、便利にご覧になれます。編集もホームページをかなり意識しています。ぜひインターネットをご活用下さい。

(篠崎辰夫 記)

発行 2007-10-1 No.174

発行責任者 長嶺 元

編集: 「菱の実会だより」編集委員会

三菱電機労働組合群馬支部

〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800

TEL 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207

菱の実会だよりホームページ アドレス <http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>